

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市西区鶴田町計画 新築工	階数	地上12F
建設地	大阪府堺市西区鶴田町600番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・準工業地域、防火地	平均居住人員	253 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定)
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年9月4日
敷地面積	1,587 m ²	作成者	長 優弥
建築面積	576 m ²	確認日	2019年9月5日
延床面積	5,345 m ²	確認者	鶴田 員利

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★ B: ★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	82%
③上記+②以外の	82%
④上記+	82%

(kg-CO₂/年·m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バー チャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境				Q2 サービス性能			Q3 室外環境 (敷地内)		
Q1のスコア= 3.2				Q2のスコア= 2.9			Q3のスコア= 3.1		
音環境	3.2	機能性	2.7	耐久性	3.3	対応性	3.0	生物環境	4.0
温熱環境	2.7	耐久性	3.3	対応性	3.0	地域性・まちなみ	3.5		
光・視環境	3.6	対応性	3.0	生物環境	2.0	周辺環境	3.2		
空気質環境	3.6	地域性・まちなみ	3.5	周辺環境	3.2	周辺環境	3.2		

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー				LR2 資源・マテリアル			LR3 敷地外環境		
LR1のスコア= 3.4				LR2のスコア= 2.7			LR3のスコア= 3.2		
建物外皮の	3.0	水資源	3.0	非再生材料の	2.5	汚染物質	3.0	地球温暖化	3.7
自然エネ	3.0	非再生材料の	3.8	汚染物質	3.0	汚染物質	3.0	地域環境	2.6
設備システム	3.8	汚染物質	3.0	周辺環境	3.2	周辺環境	3.2	周辺環境	3.2
効率的	3.0	周辺環境	3.0	周辺環境	3.2	周辺環境	3.2	周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合

計画地は四面とも道路に面しており、道路沿いに可能な限り緑地を設けることで、周辺環境に配慮しながら隣接した河川や公園などにある緑地との連続性を感じられるような計画としました。

また、車両と歩行者とのアプローチを分離し安全性に配慮しました。

その他

特になし。

Q1 室内環境

敷地北側に幹線道路がある為、幹線道路に面している専用部分については遮音性能T-2に対するなど防音対策を重視している。

Q2 サービス性能

給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理がしやすい設計となっています。

Q3 室外環境 (敷地内)

敷地内に可能な限り緑地を設け、まちなみや景観に配慮しています。

LR1 エネルギー

特になし。

LR2 資源・マテリアル

特になし。

LR3 敷地外環境

駐車場・駐輪場を十分な台数確保しています。

また、車両の出入り及び歩行者が敷地外へ出る際の見通しを確保しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	堺市西区鶴田町計画 新築工事	BEE	BEEランク
建設地		堺市西区鶴田町600番		
主用途／延床面積	集合住宅	/ 5,344.55 m ²	1.1	B+

2. 重点項目への取組み

重 点 項 目	評 価 点	取 組 み 度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
エネルギー削減	4	● ● ● ● ●
建物の断熱性	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評 価 項 目	スコア	評 価 点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.7	4
みどり・ヒートアイランド対策	評 価 項 目	スコア	評 価 点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評 価 項 目	スコア	評 価 点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.8	4
建物の断熱性	評 価 項 目	スコア	評 価 点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0	3
安全快適な暮らし	評 価 項 目	スコア	評 価 点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評 価 項 目	スコア	評 価 点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他

技術の名称	考 慮 事 項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	